

# カーペット（繊維系床材）のメンテナンスレポート

## クリーニング方式編 カーペットの洗浄クリーニングとメンテナンスポイント

### 各洗浄方式における事前バキュームについて



#### 【作業工程】

- 1) 粗ゴミを回収する。
- 2) 作業エリアのパイルが潰れている方向を確認
- 3) アップライトバキュームで、洗浄するエリアをバキュームする。



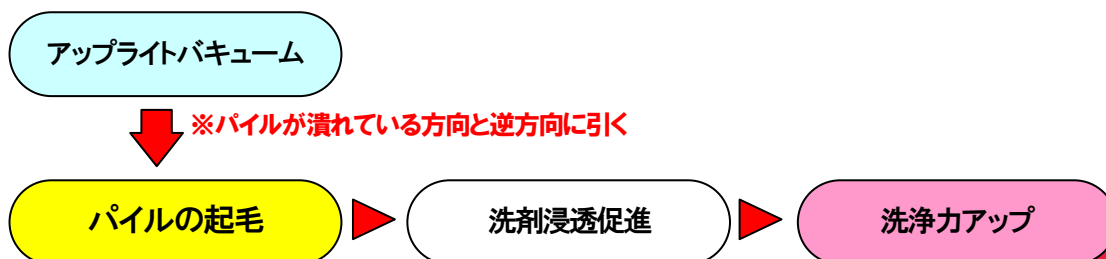
**ウィックバックを防止する事、洗浄効果を向上させる事を目的に行う。**  
 洗剤を使用するクリーニング作業前にバキュームを行うもう一つの理由が、パイルを起毛させる事であるため、使用するバキュームは必ずアップライト型バキュームを使用する必要がある。

#### 洗剤の浸透を早め、洗浄効果をUPさせるために、パイルを起毛する

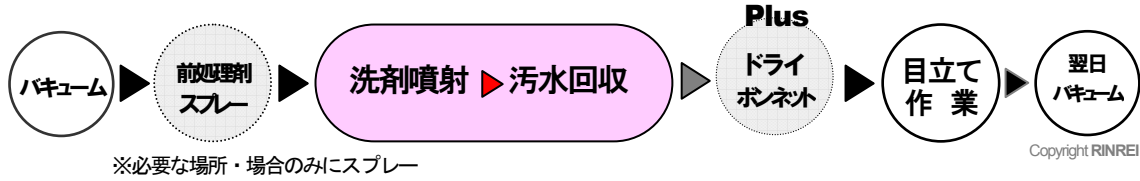
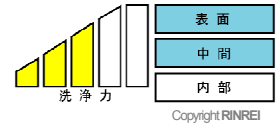
パイルが潰れたままの状態でも、表面的な汚れを除去するだけで、パイル内部の洗浄・除去は行えないので、洗浄前のパイル起毛は必須の作業になる。  
 洗浄前に行うバキューム作業は、パイルの潰れた方向と逆の方向にバキュームを行う必要があるため、**洗浄前に実施するバキュームは、必ずアップライトバキュームを使用し、バキュームを行う前にパイルの潰れている方向を確認した上で、潰れている方向とは逆の方向に、ゆっくりとバキュームを引きながらバキュームを掛ける必要がある。**



アップライトバキュームを使用したバキューム作業の方向



# 4b エクストラクションPlus方式

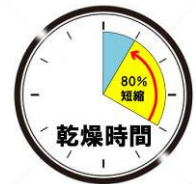


Plus 方式



作業効率: 100 m<sup>2</sup>/1時間・1名  
 使用洗剤: 無発泡性洗クリーナー  
 ※前処理剤はプレスプレークリーナー  
 使用機材: ・エクストラクター  
 ・目立てブラシ、(スプレーヤー)  
 ・ポリッシャー、ボンネットパッド

- [長所]
- 比較的洗淨性に優れ、パイル内部の土砂除去能力に優れる。
  - 狭い部分のスポットクリーニングにも適する。
  - ドライボンネットを行うことで汚れ除去性の向上と乾燥時間を大幅に短縮する事が可能。
  - 作業後に室内を密閉状態にすることによって発生する水腐れ臭を、大幅に抑制できる。



- [短所]
- エクストラクションに比べて1工程増えるため、作業性が低下する。
  - 水を多量に使用するため、フリーアクセスフロアには不向きである。
  - 土砂汚れが激しい箇所ではウイックバックが発生する可能性がある。
  - 広い面積を行う場合、ボンネットパッドの使用枚数が多く必要になる。

## (メンテナンスポイント)

カーペットを手早く簡単に作業するのに適したクリーニング方式です。  
 洗剤を水圧噴射して汚れを分離除去する方式なので、汚れの激しい部分には向いていませんが、**嘔吐物の処理や飲料のこぼし跡などのスポットクリーニング**にも適しています。作業前に汚れの多い箇所はプレスプレー液を予め噴霧器などでスプレーしておくことが重要です。  
**汚れの多い場所は極力ゆっくりと、汚れの少ない場所は普通に**ウオンドを引くようにします。  
 また、1パス目は洗剤噴射をしながら、2パス目は洗剤を噴射せずにウオンドを引きます。  
 作業後、乾燥までに時間がかかるとウイックバック発生の原因になるので、**ドライボンネットを用いたPlus方式**を行うことでウイックバックを抑制するだけでなく、仕上がりを良くし乾燥時間を短縮させることが出来ます。  
 洗淨作業終了後、**目立てブラシを用いてパイルの目立てを行っておく**ことで、更に乾燥を早める効果があります。

洗淨適性一覧	カットパイル		ループパイル		カット&ループ	
	毛足短い ペロア等	毛足長い サキノニー等	高低差あり H/Lループ等	レベルループ	ハイカット ロールアップ	レベルカット レベルループ
アキスミンスター	○	▲			●	○
ウイルトン	○	▲			●	○
タフテッド	○	▲	●	○	●	○
タイルカーペット	○	▲	●	○	●	○
コードカーペット				○		
電着(人工芝など)	▲	▲				
ニードルパンチ※			● パイルの無いカーペット			

○:適している ●:適するが制約あり ▲:あまり適していない ×:適用不可

